

うるま市 勝連南風原区

集落
部門

「肝高の精神」継承!かっちゃん南風原ふるさとづくり (平成28年度認定)



うるま市勝連南風原区は、沖縄本島中部の東側にある与勝半島の根元に位置し、ユネスコ世界遺産に登録された「勝連城跡」の北側に広がる集落である。野菜や花きの生産が主な産業であり、近年うるま市与勝地下ダムのかんがい施設の完成により農業用水を利用し、熱帯果樹（マンゴー）等の栽培も盛んになっている地域である。

古来より継承されている伝統芸能である「獅子舞、棒術」等を「かっちゃん南風原まつり」や「十五夜遊び（じゅうごやあしび）」で披露したり、「かっちゃん南風原伝統芸能発表会」等を開催したりと多くの年間行事を区民一丸となって盛大に実施され、伝統芸能が受け継がれている歴史ある地域である。

近年は、急速に都市化が進む中、「うまんちゅかっちゃん朝市」や「南風原二坪農場」等良好なアメニティを提供し地域活動を実施することにより、集落（むら）の人々の連帯感を高め、子供たちの情操教育・郷土愛醸成の場として活発な地域である。

このように古くからの伝統行事や新しいイベントなどに取り組み、地区内外の人たちの交流による地域活動が活発であることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



伝統芸能発表会



伝統芸能 棒術



与勝地下ダムの活用



南風原二坪農場



オクラ料理コンテスト



うまんちゅかっちゃん朝市